

	ニッパツ	国内関連会社	社会の動き
1967年			公害対策基本法施行
1970年			公害国会(公害対策諸法成立)
1971年	7月 環境管理課設立(自主測定・分析の体制確立)		環境庁設置
1985年			ウィーン条約(オゾン層保護)採択
1987年			モントリオール議定書(オゾン層保護)採択
1990年	1月 ニッパツ「企業理念」制定		
1991年	10月 「リサイクル連絡会」発足		リサイクル法施行(自動車指定)
1992年	9月 「地球環境対策委員会」発足 (3分科会発足:一般廃棄物、洗浄、発泡) 11月 第1回地球環境フォーラム開催		国連地球サミット開催(ブラジル) 地球温暖化防止条約採択
1993年	5月 「環境ボランティアプラン」制定 (3分科会追加:産業廃棄物、省エネルギー、製品技術)		環境基本法施行
1994年	12月 第2回地球環境フォーラム開催 12月 特定フロン等全廃達成(1年前倒し)		
1995年	1月 発泡分科会終了 環境マネジメント分科会発足 10月 横浜事業所がISO14001トライアルスタート 12月 第3回地球環境フォーラム開催		容器包装リサイクル法施行 (社)日本自動車部品工業会環境部会発足 第1回地球温暖化防止会議(COP1)
1996年	3月 横浜事業所がISO14001トライアル終了 4月 ばね横浜工場がISO14001取得準備スタート 10月 全工場でISO14001の取得方針を決定 12月 第4回地球環境フォーラム開催 12月 環境ボランティアプラン改定(第1次)		ISO14001制定 JISQ14001発行
1997年	1月 ばね横浜工場がISO14001認証取得(工場取得第1号) 9月 環境ボランティアプラン改定(第2次)		(社)日本自動車部品工業会環境委員会発足 第3回地球温暖化防止会議(COP3) 京都議定書採択
1998年	1月 地球環境問題講演会を開催 3月 滋賀工場がISO14001認証取得 3月 群馬工場がISO14001認証取得 7月 地球環境対策委員会の組織変更 11月 産機駒ヶ根工場がISO14001認証取得		地球温暖化対策推進法施行
1999年	1月 環境ボランティアプラン改定(第3次) 2月 第5回地球環境フォーラム開催 3月 豊田工場がISO14001認証取得 5月 シート横浜工場がISO14001認証取得 6月 伊那工場がISO14001認証取得	4月 日発陸会総務部会で廃棄物データ収集を開始 6月 環境対策研修会を開始(年4回開催)	改正省エネルギー法施行
2000年	6月 第6回地球環境フォーラム開催 6月 DDS駒ヶ根工場がISO14001認証取得 7月 環境ボランティアプラン改定(第4次) 8月 野洲工場がISO14001認証取得 11月 厚木工場がISO14001認証取得 11月 Y530(横浜事業所ごみゼロ)プロジェクト発足	6月 日本パワーファスニング(株)がISO14001認証取得 9月 環境対策研修会を継続開催(年2回開催)	ダイオキシン類対策特別措置法施行 PRTR法施行 循環型社会形成推進基本法施行 第6回地球温暖化防止会議(COP6)
2001年	2月 環境ボランティアプラン改定(第5次) 4月 伊勢原工場がISO14001認証取得(全工場完了) 6月 第7回地球環境フォーラム開催	5月 (株)ホリキリがISO14001認証取得 8月 横浜機工(株)がISO14001認証取得 11月 (株)トープラがISO14001認証取得	環境省設置 家電リサイクル法施行
2002年	1月 横浜事業所にリサイクルセンター完成 2月 環境ボランティアプラン改定(第6次) 5月 第8回地球環境フォーラム開催 6月 第10回横浜環境保全活動賞を受賞 12月 横浜事業所が平成14年度かながわ地球環境賞受賞	3月 日発テフレックスモース(株)がISO14001認証取得 5月 日本ガスケット(株)がISO14001認証取得 10月 日発販売(株)がISO14001認証取得 10月 日発陸会技術部会地球環境問題分科会を発足	土壤汚染対策法公布 自動車リサイクル法公布 日本が京都議定書を批准
2003年	2月 環境ボランティアプラン改定(第7次) 3月 横浜事業所でゼロエミッション達成 6月 第9回地球環境フォーラム開催	5月 日発陸会技術部会地球環境問題分科会を開催 7月 日発運輸(株)がISO14001認証取得 10月 (株)スミハツがISO14001認証取得 10月 ユニフレックス(株)がISO14001認証取得 11月 日本シャフト(株)がISO14001認証取得	自動車リサイクル法施行 土壤汚染対策法施行 改正省エネルギー法施行
2004年	2月 環境ボランティアプラン改定(第8次) 6月 第10回地球環境フォーラム開催 12月 厚木工場が平成16年度かながわ地球環境賞受賞	7月 ニッパツサービス(株)がISO14001認証取得 7月 日発陸会技術部会地球環境問題分科会を開催 9月 東北日発(株)がISO14001認証取得	改正大気汚染防止法公布
2005年	1月 横浜事業所がPRTR大賞で奨励賞受賞 2月 環境ボランティアプラン改定(第9次) 5月 第11回地球環境フォーラム開催	3月 フォルシア・ニッパツ九州(株)がISO14001認証取得 3月 (株)スニックがISO14001認証取得 7月 関連会社首脳会議を開催	改正自動車リサイクル法施行 京都議定書発効

本社・研究開発本部・ばね生産本部

本社・研究開発本部



コメント

本社および研究開発本部は、ばね・シートの横浜工場とともに、7月1日から9月30日まで昼休みの時間を変更し、ピークとなる時間帯の電力使用の削減を図っています。また冷房温度の28℃厳守、ノーネクタイ・ノー上着の実施など、省エネルギー活動を積極的に推進しています。

所在地 横浜市金沢区
 業務内容 企画・管理・研究開発
 業務開始 1991年2月
 従業員数 565人

2004年度および2005年度の取り組み

- 廃棄物削減と再資源化
 - ゼロエミッション3年計画(目標:廃棄物10%、費用30%低減)に対して、研究開発テーマの進捗に対応した取り組みを図ります。これにより、購入・使用・廃棄サイクルの見える管理を徹底し、継続した行動への結び付けを図ります。
- 化学物質の管理
 - 研究開発部門では、化学物質管理システムの定着運用が行われています。環境への配慮において改善点などの対応・啓発教育により、部門員一体の環境意識の継続・スパイラルアップを図ります。

●大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市生活環境保全条例)

物質	設備	規制値	実績
NOx	温水ボイラー	A	0.065
		B	0.075
	冷水水発生器	A	0.066
		B	0.046
ばいじん	温水ボイラー	A	0.05
		B	0.05
	冷水水発生器	A	0.05
		B	0.05

NOx単位: m³/h ばいじん単位: g/m³N

●水質:本館棟(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.9	7.3	7.50
油分	5	2.9	0.1	1.01
Fe	3	0.26	0.01	0.092
Zn	1	0.08	0.01	0.030
Ni	1	0.04	0.01	0.018
T-Cr	2	0.03	0.01	0.011
フッ素	8	1.93	0.01	0.298

単位: mg/l

●水質:研究開発棟(規制値:横浜市下水道条例)

項目	施設	規制値	実績		
			最大	最小	平均
pH	研究開発棟1	5~9	7.7	6.4	7.10
	研究開発棟2		7.8	6.5	7.06
油分	研究開発棟1	5	1.9	0.1	1.00
	研究開発棟2		3.4	0.1	1.13
Fe	研究開発棟1	3	0.97	0.06	0.321
	研究開発棟2		0.73	0.01	0.114
Zn	研究開発棟1	1	0.49	0.01	0.084
	研究開発棟2		0.1	0.01	0.032
Ni	研究開発棟1	1	0.04	0.01	0.018
	研究開発棟2		0.07	0.01	0.026
T-Cr	研究開発棟2	2	0.01	0.01	0.01
フッ素	研究開発棟2	8	7.72	0.16	1.685

単位: mg/l

ばね横浜工場



工場長コメント



工場長
赤松 英夫

従業員および関係者の環境への意識向上のもとに、省資源、リサイクルなどの身近な対応から、環境に対する予知保全に至るまでの取り組みの中で「地球にやさしいばねづくり」をめざします。

所在地 横浜市金沢区
 生産品目 ばね・コイルばね・ラジラスロッド
 操業開始 1987年11月
 従業員数 326人

考え方と方針

当工場は、「地球にやさしいばねづくり」を実現するために、環境保全、省エネルギー、廃棄物削減などの環境管理活動を工場運営の重要基盤の1つとして展開し、従業員の環境意識高揚を図ります。

2004年度および2005年度の取り組み

- 廃棄物削減と再資源化
 - 工場環境推進委員会で教育・啓発活動を活発に展開し、各職場の環境個別改善により軍手使用量を前年度比20.5%削減しました。
 - 日常的に発生する廃棄物は、2004年度通期実績で前年度比99.9%の再資源化率を達成しています。
- 省エネルギー
 - ばね生産本部棟の窓ガラスに熱線反射型のフィルムを貼り、エアコン用電力使用量を前年度比25.9%削減することができました。
 - 工場吸気装置の動力伝達用Vベルトを省エネルギータイプに変更し、15,300kWhの電力を削減することができました。

●大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市生活環境保全条例)

物質	設備	規制値	実績
NOx	金属加熱炉	A	0.125
		B	0.108
		C	0.189
		D	0.151
		E	0.106
	金属戻し炉	A	0.163
		B	0.105
		C	0.089
		D	0.073
		E	0.051
ばいじん	金属加熱炉	A	0.1
		B	0.1
		C	0.1
		D	0.1
		E	0.1
	金属戻し炉	A	0.1
		B	0.1
		C	0.1
		D	0.1
		E	0.1

NOx単位: m³/h ばいじん単位: g/m³N

●水質(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.4	6.1	6.8
油分 鉱物油	5	3.1	0.1	1.21
油分 動植物油	30	4.7	0.3	2.53
Fe	3	0.16	0.02	0.08
Zn	1	0.21	0.01	0.059
Ni	1	0.61	0.01	0.264
Mn	1	0.21	0.01	0.019
フッ素	8	4.29	0.01	0.935
ぼう素	10	0.8	0.1	0.432

単位: mg/l

滋賀工場



工場長コメント



工場長
森 雅彦

滋賀工場スローガン「STPMで活き生き進化 滋賀工場」の実践考動として、全員参加できる環境保全活動を通して「地球環境にやさしいばねづくり」を積極的に推進します。

所在地 滋賀県甲賀市
 生産品目 コイルばね・スタビライザ・トーションバー
 操業開始 1973年11月
 従業員数 251人

考え方と方針

スローガン「STPMで活き生き進化 滋賀工場」のもと、STPM活動の7本柱の1つである環境保全を中心に、全員参加の環境保全活動へと具現化し、環境にやさしいばねづくりを積極的に推進していきます。

2004年度および2005年度の取り組み

- 省エネルギー
 - 設備別電力監視装置を設置し、2005年度からの具体的活動体制を整えました。
 - 照明器を省エネルギー型照明器(ハロゲン灯)に変更しました。
 - 中空スタビライザ端末加熱機の加熱方式を単相交流から三相直流インバーターに変更し、省エネルギーを図りました。
- 省資源活動
 - ゼロエミッション達成により、再資源化の質的向上を図るべく廃棄物委託先の変更を推進しました。
 - 廃ウエス・軍手:使用量削減活動(STPM活動)と固形燃料(RPF)化。
 - 廃プラ:軟プラ・硬プラの分別と固形燃料化。
 - コンクリート・レンガくず:流動化処理土(Nソイル)化。
 - 薬品びん:ガラスびん化で製品化(内外装材)。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	金属加熱炉	A	300
		B	300
		C	180
ばいじん	金属加熱炉	A	0.25
		B	0.25
		C	0.25

NOx単位: ppm ばいじん単位: g/m³N

●水質(規制値:甲賀市協定)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	6~8	7.9	7.1	7.55
BOD	20	3	1	1.22
COD	20	10	1	2.78
SS	10	4	1	1.3
油分	3	2.6	0.3	1.26
総窒素	12※	8.9	2.56	5.362
総りん	1.2※	0.2	0.01	0.059

※滋賀県条例

単位: mg/l

シート生産本部

群馬工場



(旧尾島地区) (太田地区)
 所在地 群馬県太田市 群馬県太田市
 生産品目 自動車用シート 自動車内装品
 操業開始 1986年12月 1969年7月
 従業員数 367人 尾島地区に含む

考え方と方針

シート群馬工場は、地球環境への配慮を工場運営の重要基盤の1つと考え、当工場の事業活動および製品の環境に与える影響を低減し、地球環境を健全な状態で次の世代に引き継いでいくことを我々の責務ととらえ、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進し、地域環境との調和をめざします。

2004年度および2005年度の取り組み

省エネルギー

- 省エネルギータイプのコンプレッサー導入およびインバーター制御設備の導入を実施しましたが、対前年度電力原単位は5%アップとなりました。
- 2005年度は、電力負荷設備の操作ルールを徹底し、電力使用量を把握していきます。予想電力原単位の管理制度を向上させます。
- LPGおよび水道では、設備からの蒸気漏れ対策、蒸気ドレインの再利用を確実に実施し、使用量の削減を行います。

廃棄物削減と再資源化

- 再資源化率は2004年度末目標の98%に対し、99.4%を達成しました。2005年度は、太田市合併に伴いごみ処理費およびウレタン原料の処理費用も増加することが決定しています。今後も再資源化率99%を維持するとともに、産廃指数、排出指数低減を含めて対応していきます。

工場長コメント



工場長
菊地 一夫

活動の活性化には、合併した新生・太田市との連携をさらに深め、全体の実践活動を通じて意識の浸透を図り、社外でも行動できる人材の育成が企業の役目だと考えています。

●大気(法規制外設備のため自主規制値)(旧尾島地区)

物質	設備	規制値		実績
		A	B	
NOx	ボイラー	A	300	76.5
		B	300	42.1
		C	300	62.5
ばいじん	ボイラー	A	0.2	0.025
		B	0.2	0.017
		C	0.2	0.054

NOx単位: ppm ばいじん単位: g/m³

●水質(規制値:群馬県条例)(旧尾島地区)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	6~8	7.4	6.1	6.84
BOD	10	9	1	1.96
SS	10	4	1	2.08
油分	3	2.5	0.5	1.56

単位: mg/l

●水質(規制値:群馬県条例)(太田地区)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.5	6.9	7.22
BOD	40	9	1	4.46
COD	40	12	1	8.31
SS	50	21	2	10.46
油分	5	3.1	0.4	1.32

単位: mg/l

シート横浜工場



所在地 横浜市金沢区
 生産品目 自動車用シート・内装品
 操業開始 1990年4月
 従業員数 362人

考え方と方針

当工場は、環境にやさしい工場づくりをめざすとともに、地球の美しい自然を後世に残す強い意志の基、地球環境への配慮を工場運営の重要基盤の1つと考えています。すべての事業活動における環境保全の向上および社会への貢献を継続的に実施します。

2004年度および2005年度の取り組み

廃棄物削減と再資源化

- 2004年度より準備を重ねてきた製品などの解体分別をさらに徹底し、リサイクル率の向上を行いました。また、全員参加のごみ分別活動を推進し再資源化率99%以上を維持しています。

省エネルギー

- 老朽化更新計画に則り、コンプレッサー1台をインバータータイプのものに更新し電力使用量49,300kWh/年(1,665千円/年)の削減に成功することができました。
- 横浜事業所におけるコージェネレーションシステムの導入に伴い、工場内の電気式エアコンを排熱利用型蒸気吸収式冷凍機の空調システムに変更しました。

工場長コメント



工場長
増田 耕

金沢八景、富岡そして海の公園といった横浜の景勝地の環境を守るべく、地道な努力の継続により周辺地域の模範となる事業所をめざします。

●大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市生活環境保全条例)

物質	設備	規制値		実績
		A	B	
NOx	ボイラー	A	0.067	0.063
		B	0.067	0.06
ばいじん	ボイラー	A	0.05	0.011
		B	0.05	0.014

NOx単位: m³/h ばいじん単位: g/m³

●水質(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	8.9	5.8	7.07
油分 鉱物油	5	3.3	0.2	1.12
油分 動植物油	30	9.7	1.6	4.99
Fe	3	0.33	0.03	0.09
Zn	1	0.15	0.01	0.030
Ni	1	0.05	0.01	0.02

単位: mg/l

豊田工場



所在地 愛知県豊田市
 生産品目 自動車用シート・内装品
 操業開始 1961年6月
 従業員数 287名

考え方と方針

当工場では、「矢作川の豊かな清流に恵まれた地で地球環境に配慮した工場づくり」をめざし、すべての事業活動で環境保全の向上および社会への貢献を継続的に実施していきます。

2004年度および2005年度の取り組み

騒音対策の実施

- 近隣住民の皆様から愛される工場をめざして当工場では、ウィークポイントである騒音の対策を継続的に実施しています。2004年度は、第5工場の昼夜稼働に伴う近隣対策として、防音トラックヤードを設置し、騒音の発生源対策を行いました。

省エネルギー

- 2004年度は第4工場の変電設備の更新および、コンプレッサーのインバーター化により稼働時のロスエネルギーを削減しました。また、ウレタンモールドの休日温調を廃止したことで、非稼働時のロスエネルギーを削減することができました。

工場長コメント



工場長
梅村 太郎

2005年度も引き続き、騒音の発生源対策による未然防止の徹底と、地球温暖化防止に向けた積極的な省エネルギー活動を展開していきます。

●大気測定対象設備無し

●水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.4	6.7	6.98
BOD	600	1	1	1.00
COD	600	14	4	6.25
SS	600	14	1	3.75
油分	5	3	0.1	1.24
Zn	5	0.25	0.03	0.125
Cu	3	0.03	0.01	0.012

単位: mg/l

精密ばね生産本部・DDS事業本部

厚木工場



所在地 神奈川県愛甲郡愛川町
 生産品目 薄板ばね・精密プレス品
 操業開始 1970年11月
 従業員数 413人

考え方と方針

当工場は、薄板ばねを中心に自動車関連製品・情報機器関連製品などの高精度・高品質・高純度製品を開発し生産しています。環境保全活動をスパイラルアップさせながら、地域と密着した環境対応型工場をめざします。

相模川と中津川にはさまれた清らかなこの環境をいつまでも大切に守るべく、従業員全員の意識向上を図り「地球にやさしい工場づくり」をめざします。

2004年度および2005年度の取り組み

■廃棄物削減と再資源化

●リサイクルセンターの設置および再資源化ルートの開拓により、2004年2月より再資源化率99%以上を達成しています。2005年度も引き続き99%以上の維持、ならびに廃棄物のいっそうの削減に取り組みます。

■環境負荷物質の削減

●洗浄液(AK225)を炭化水素系洗浄剤に変更し、2005年度中の代替フロン全廃をめざします。
 ●めっき関係の六価クロム削減・鉛フリー化など、グリーン調達を推進します。

工場長コメント



工場長
荒木 伸夫

地球環境保護を担う社会の一員として、環境保護の重要性を認識し、廃棄物削減、環境負荷物質削減に取り組み、「地球にやさしい工場づくり」を全員参加で推進します。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	温水ボイラー	250	87.9
ばいじん	温水ボイラー	0.3※	0.045

※神奈川県条例 NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³

●水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.4	6.7	7.02
BOD	600	47	4	13.9
SS	600	37	1	11.0
油分 鉱物油	5	5.7	1.2	3.40
油分 動植物油	30	12.1	0.2	2.01
Fe	10	0.79	0.03	0.371
総窒素	125	29.04	7.4	12.57
フッ素	8	0.54	0.01	0.1
ほう素	10	0.4	0.1	0.2

単位:mg/ℓ

伊那工場



(宮田地区) (箕輪地区)
 所在地 長野県上伊那郡宮田村 長野県伊那市
 生産品目 線ばね・精密加工品 機能部品
 操業開始 1943年12月 2004年8月
 従業員数 410人 61人

考え方と方針

当工場は、自動車の主要部品であるバルブスプリングをはじめ各種線ばね、機能製品など、高品質・高機能で環境への負荷が少ない製品を開発・製造し提供しています。

今後もよりいっそうの地球環境保護を推進するとともに、伊那谷の緑豊かな山々と青い空、そして澄んだ河川の流れを後世に継承するため、地域社会との共存を図りながら、地球環境にやさしい工場づくりを進めていきます。

2004年度および2005年度の取り組み

■省エネルギー

●工場内変電所の変圧器を高効率型に変更しました。さらに、高圧ケーブルのサイズを変更することによりエネルギー損失の低減を図り省エネルギーを実施しました。

■地域貢献活動

●天竜川環境ピクニックおよび、新入社員による環境美化活動を実施しています。また、工場周辺の清掃活動など地域周辺の美化活動にも取り組んでいます。

工場長コメント



工場長
高橋 哲郎

伊那谷の自然豊かな地の中で、創業以来60年あまり、地域とともに発展してきました。永い歴史を大切にしながら、地域社会との共存を図り「真に地球にやさしい、地域にやさしい工場づくり」をめざします。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値		実績
		A	B	
NOx	暖房用ボイラー	250	250	55.4
		250	250	47.7
		250	250	67.1
ばいじん	暖房用ボイラー	0.3	0.3	0.043
		0.3	0.3	0.026
		0.3	0.3	0.039

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³

●水質(規制値:長野県条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.7	7.1	7.36
BOD	20	2	1	1.33
COD	20	2	1	1.167
SS	30	3.5	1	1.4
油分	5	1.9	0.1	1.15
Fe	10	0.49	0.01	0.117
Cu	3	0.03	0.01	0.013
総窒素	120	11.2	2.04	3.587
総りん	16	1.15	0.01	0.149

単位:mg/ℓ

DDS駒ヶ根工場



所在地 長野県駒ヶ根市
 生産品目 HDD用サスペンション
 操業開始 1983年11月
 従業員数 420人

考え方と方針

当工場は、先端技術を駆使してハードディスク用サスペンションを生産しています。

自然環境に恵まれたこの地を健全な状態で後世に引き継ぐため、「環境にやさしい工場づくり」をめざし、事業活動を通して継続的な環境保全活動を推進し、省資源、省エネルギー、廃棄物削減およびリサイクルなどを実施するとともに、地域社会における環境保全に取り組みます。

2004年度および2005年度の取り組み

■廃棄物削減と再資源化

●リサイクルマニュアルを作成し教育を実施しました。廃棄物の分別が徹底されるようになったことから、通期実績で再資源化率99%以上を達成することができました。

●2005年度は、廃プラスチック類のマテリアルリサイクル化を継続して実施します。

■省エネルギー

●洗浄機の加熱方式をヒーターから蒸気に変更、焼戻し炉のヒーターON-OFF自動制御化、および夏期の散水によるクリーンルーム空調屋外機への負荷低減を実施しました。

工場長コメント



工場長
梅林 彰

全員参加による自然環境保護活動を展開しており、生産活動のみならず地域貢献活動の充実を図り、地域の皆さんに親近感を持ってもらえる工場づくりをめざしています。

●大気測定対象設備無し

●水質(規制値:長野県条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.6	7.0	7.34
BOD	20	7	1	2.1
COD	20	8	1	3.3
SS	30	4	1	1.5
油分	5	1.7	0.5	1.10
Cu	3	0.07	0.01	0.030

単位:mg/ℓ

産機事業本部

伊勢原工場 (接合・セラミック部/特品部)



所在地 神奈川県伊勢原市
 生産品目 ろう付品・配管支持装置・特殊ばね
 操業開始 1993年3月
 従業員数 138人

考え方と方針

当工場は、多くの部門が集合し多岐にわたる事業を展開しています。そのすべての事業活動の中で、環境保全活動に取り組み、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の低減など、継続的に改善を実施していきます。

2004年度および2005年度の取り組み

産業廃棄物削減と再資源化

- リサイクルセンターを設置しました。分別保管マップの作成・運用により、分別・保管の徹底を図り、再資源化率99.9%を達成することができました。
- 部門別の廃棄物の量的把握を行い、各部署ごとの排出量の削減および産廃費用の低減に取り組みます。

省エネルギー

- 24時間稼働のコンプレッサーおよびろう付炉の冷却水ポンプの運転効率化、また空調機の適正稼働による、電力使用量の削減に取り組みます。

部長コメント



接合・セラミック部長
茅本 隆司

古くから信仰されている大山の麓、縄文時代の遺跡もある小高い丘に建つ工場です。環境を守りながら、地域に根ざした好かれる工場をめざします。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値		実績
		A	B	
NOx	冷水ボイラー	150	150	29.4
				47.5
ばいじん	冷水ボイラー	0.1※	0.1※	0.014
				0.021

※神奈川県条例 NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³

●水質(規制値:排水量50m³/h未満のため自主管理)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.8	6.7	7.21
BOD	130	13	2	5.8
COD	130	19	9	13.2
SS	160	8	1	3.0
油分	5	2.3	0.7	1.39
Fe	3	0.37	0.01	0.145
Zn	1	0.13	0.04	0.079

単位:mg/l

産機駒ヶ根工場 (化成品・電子部品部)



所在地 長野県駒ヶ根市
 生産品目 特殊発泡ポリウレタン製品
 金属ベースプリント配線基板
 操業開始 1981年12月
 従業員数 122人

考え方と方針

当工場は、2つのアルプスが映える緑豊かな景勝地にあり、機能性ウレタン製品およびプリント配線板の生産を行っています。ニッパツの行動指針、行動計画を基に、地域に根ざした循環型社会への取り組みを全従業員で推進します。

2004年度および2005年度の取り組み

- 第2工場を含めた拡張認証監査に合格(ISO14001)
- 環境負荷物質の削減と再資源化
 - ウレタン発泡機洗浄剤の塩化メチレンを他の洗浄剤に変更し、2006年3月までに全廃に取り組みます。
 - 特別管理産業廃棄物の塩化銅廃液を再資源化として売却処理しました。
 - 第2工場の廃棄物分別・保管の整備を実施しました。

部長コメント



化成品・電子部品部長
川口 博正

2つのアルプスが映える緑豊かな景勝地のもとで、当社の「地球環境行動指針」と「地球環境行動計画」をもとに、地域に根ざした環境型社会への取り組みを全従業員で推進していきます。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値		実績
		A	B	
NOx	温水ボイラー	180	180	69.5
				47.7
	多段プレスボイラー	180	180	68.0
				103.3
ばいじん	温水ボイラー	0.3	0.3	0.017
				0.023
	多段プレスボイラー	0.3	0.3	0.038
				0.061
		0.3	0.3	0.021

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³

●水質(規制値:長野県条例)第一生産棟

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.9	7.4	7.65
BOD	20	4	1	1.3
COD	20	3	1	1.3
SS	30	2	1	1.1
油分	5	1.9	0.4	1.13
Fe	10	0.09	0	0.020
総りん	16	0.05	0	0.013

単位:mg/l

●水質(規制値:長野県条例)第二生産棟

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.4	6.8	7.07
BOD	20	19	1	6.1
COD	20	17	1	8.0
SS	30	29	1	2.6
油分	5	3.5	0.1	1.23
Fe	10	0.42	0.1	0.232
Cu	3	0.23	0.01	0.059
総りん	16	0.05	0.05	0.05

単位:mg/l

野洲工場 (パーキング部)



所在地 滋賀県野洲市
 生産品目 立体駐車装置
 操業開始 1996年10月
 従業員数 59人

考え方と方針

当工場は、環境への負荷軽減をスローガンに機械式駐車装置などの高品質・高機能製品を開発、製造しています。今後もよりいっそうの地球環境保護を推進するとともに琵琶湖を囲む緑豊かな山々、青い空と河川の流れなどのすばらしい環境を後世に継承するため、環境保全の継続的改善に取り組んでいきます。

2004年度および2005年度の取り組み

- 廃棄物削減と再資源化
 - 燃やすごみの分別強化および埋立て廃プラ・汚泥類のサーマルリサイクル化を図り、再資源化率99%以上を達成しました。
- 省エネルギー
 - 工場内エア配管のリークチェックによりコンプレッサー稼働負荷削減に取り組んでいます。

部長コメント



パーキング部長
大塚 敏文

湖国独特の豊かな自然のさまざまな変化を、自然が発する警告と受けとめ、環境は壊れやすく復元し難いことを認識し、従業員全員で地球にやさしい工場づくりをめざします。

●大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値		実績
		A	B	
NOx	ボイラー	150	150	44.7
				23.8
ばいじん	ボイラー	0.2	0.2	0.057
				0.048

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³

●水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.8	6.6	7.27
BOD	600	3	1	2.1
SS	600	8	1	2.7
油分	5	4.2	0.9	1.89
Ni	1	0.33	0.03	0.178
総窒素	60	23.83	12.01	15.902
総りん	10	0.43	0.09	0.171

単位:mg/l

■ 国内関連会社 (2005年3月末現在)

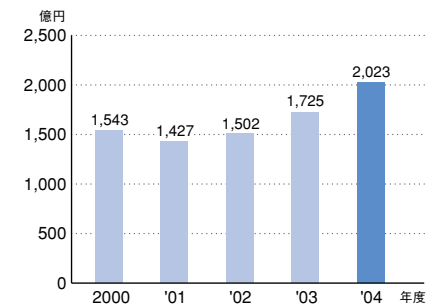
国内関連会社	本社所在地	連絡先	主要業務
ニッパン(日発販売株式会社)	〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1	TEL.(03)5690-3001 FAX.(03)5690-3025	自動車部品・用品、自動車用ばね、精密自動車部品、モジュール化部品、各種産業部品・精密測定機器、光通信関連部品、情報通信関連機器の販売および輸出入
日発運輸株式会社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10	TEL.(045)788-0811 FAX.(045)701-5521	貨物運送取扱事業、倉庫業および納入に関する一切のサービス業務、機械設備の輸送・据付業
株式会社ニッパツサービス	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-32-1 ニッパツ西口ビル	TEL.(045)316-7700 FAX.(045)322-2271	石油・石油製品・自動車部品・用品の販売、化学製品・一般高圧ガスなどの販売および付帯設備工事、損害・生命保険代理店業、不動産業、酒類小売業
株式会社ニッパツアメニティ	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10	TEL.(045)786-7555 FAX.(045)786-7577	ビル総合管理、警備業、緑化事業、印刷、人材派遣業、情報システム開発および運営管理
株式会社ジー・エル・ジー	〒212-0057 川崎市幸区北加瀬2-1-12	TEL.(044)599-2471 FAX.(044)588-4814	ゴルフ練習場運営
横浜機工株式会社	〒236-8647 横浜市金沢区福浦2-11-1	TEL.(045)781-2701 FAX.(045)781-2228	スタビライザ、照明器具、真空蒸着品の製造販売
株式会社スミハツ	〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-5 MY岩本町ビル4F	TEL.(03)3864-6331 FAX.(03)3864-6130	板ばね、コイルばね、分岐器、クリップ、合成まくらぎ、バラソサの製造販売
株式会社ホリキリ	〒276-0022 千葉県八千代市上高野1827-4	TEL.(047)484-1111 FAX.(047)484-1804	板ばね、U字形ばね、スタビライザ、スタビリンカーの製造販売
東北日発株式会社	〒024-0334 岩手県北上市和賀町藤根18-25-2	TEL.(0197)73-5221 FAX.(0197)73-7143	コイルばね、精密ばね、異形線ばね、特殊ばね、自動車用シート部品の製造販売
株式会社アイテス	〒245-0053 横浜市戸塚区上矢野町2258	TEL.(045)813-4777 FAX.(045)812-0840	自動車用シート、内装品の製造販売
フォルシア・ニッパツ株式会社	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-32-1 ニッパツ西口ビル9F	TEL.(045)324-4631 FAX.(045)324-4632	自動車用シートの開発および販売
フォルシア・ニッパツ九州株式会社	〒800-0321 福岡県京都市都筑町新浜町9-9	TEL.(093)435-3300 FAX.(093)435-2900	自動車用シートの製造販売
株式会社シンダイ	〒444-1301 愛知県高浜市新田町3-3-6	TEL.(0566)52-1221 FAX.(0566)52-1225	自動車および家具用シートスプリング、スチールフレーム、トラックリッドトーションバー、サンバイザーワイヤー、トノカバーの製造販売
株式会社スニック	〒438-0211 静岡県磐田市東平松1403	TEL.(0538)66-5511 FAX.(0538)66-5510	二輪車および自動車用シートの製造販売
ユニフレックス株式会社	〒399-4501 長野県伊那市西貫輪北原2445-5	TEL.(0265)76-3280 FAX.(0265)76-3288	コントロールケーブルおよび関連部品の製造販売
アヤセ精密株式会社	〒252-1125 神奈川県綾瀬市吉岡東1-13-6	TEL.(0467)76-7631 FAX.(0467)76-6472	精密薄板ばねの製造販売
日発テレフレックスモース株式会社	〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-21-10	TEL.(045)475-8901 FAX.(045)475-8907	マリン、インダストリアル用メカニカルリモートコントロールボックス・コントロールケーブル、電子式リモートコントロールシステム、ステアリングシステム(メカニカル式、油圧式)、フットペダル(メカニカル式、電子式)の製造販売
株式会社ニッパツパーキングシステムズ	〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目2-1-49	TEL.(0463)91-8620 FAX.(0463)91-8646	機械式駐車装置全般の計画・販売・施工・メンテナンス・リニューアル、駐車場付帯設備の販売
日本シャフト株式会社	〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-1-15	TEL.(045)782-2561 FAX.(045)783-3559	ゴルフシャフト、金属バット、ゴルフクラブなど運動用具、パイプ製品、カーボン複合製品の製造販売
株式会社トープラ	〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋201	TEL.(0463)82-2711 FAX.(0463)83-4877	十字穴付ねじ、ボルトおよび一般ファスナーの製造販売
日本パワーファスニング株式会社	〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-90 梅田スカイビルガーデンファイブ4F	TEL.(06)6442-0951 FAX.(06)6451-9951	工業用ファスナー(ばね、ねじなど)の製造販売、締結工具、機械および工業用びょう打機の製造販売
日本ガasket株式会社	〒578-0901 大阪府東大阪市加納2-1-1	TEL.(0729)62-4024 FAX.(0729)64-4771	エンジン用ガasket製品および素材、ヒートインシュレーター、消臭等環境改善製品、コーティング材料の製造販売
日発精密工業株式会社	〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目2-1-49	TEL.(0463)94-5235 FAX.(0463)93-5104	ねじ工具、自動車部品、情報処理機器部品、産業用精密部品の製造販売
株式会社ニッパツ・ハーモニー	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10	TEL.(045)786-7571 FAX.(045)786-7501	建物内外の清掃業務

■ 会社概要 (2005年3月末現在)

商号	日本発条株式会社
設立	1939年(昭和14年)9月8日
資本金	170億957万円
従業員数	3,781名
売上高	2,023億円(2004年度、単独)
本社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10
事業部	ばね生産本部、シート生産本部、精密ばね生産本部、 DDS事業本部、産機事業本部、情報セキュリティ事業部
工場	横浜工場(ばね/シート)、滋賀工場、群馬工場、 豊田工場、厚木工場、伊那工場、 駒ヶ根工場(DDS/産機)、伊勢原工場、野洲工場
分館・分室	東京分館、横浜分室
支店・営業所	北関東支店、浜松支店、名古屋支店、大阪支店、 広島支店、福岡営業所
海外事務所	スペイン事務所
上場	東証第一部(コード5991)
関連会社	国内24社、海外26社

財務データ

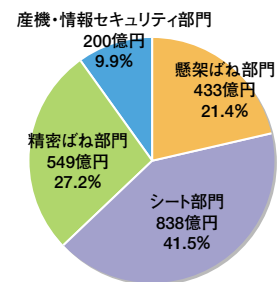
■ 売上高の推移



■ 事業分野と主な製品

自動車分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 板ばね、コイルばね、スタビライザなどの懸架ばね ・ シート/内・外装品 ・ 線ばね/薄板ばね/精密プレス品 ・ 機能製品 ・ アクкумуляター/金属ベローズ ・ 特殊発泡ポリウレタン製品ほか
情報通信分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ HDD用サスペンション・メカ製品 ・ マイクロコンタクタ ・ 線ばね/薄板ばね/精密プレス品 ・ 精密加工品 ・ 機能製品 ・ ろう付品 ・ 金属ベースプリント配線板 ・ 特殊発泡ポリウレタン製品
産業・生活分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティシステムほか ・ 立体駐車装置 ・ 配管支持装置 ・ 特殊ばね/金属ベローズ ・ 特殊発泡ポリウレタン製品

■ 部門別売上比率



編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

2000年より毎年発行しております「環境報告書」を、今年度より「環境・社会報告書」と改め、編集にあたり、当社のCSR活動を含む社会性情報の拡充に努めました。内容的にはまだまだ不十分な点も多く、今後読者の皆様のご意見・ご要望をいただきながら、報告内容の充実を図っていきたくと考えております。

つきましては、添付のアンケートにご協力いただき、皆様の率直なご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2005年9月

<問い合わせ先>

日本発条株式会社
企画本部広報部
〒236-0004
横浜市金沢区福浦3-10
TEL: 045-786-7513
FAX: 045-786-7598
ホームページ:
<http://www.nhkspg.co.jp/>
Email: b2200@nhkspg.co.jp